

箱根組ニュース

第338号 2021年6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

三ツ峠山に10人！ 残念ながら富士の姿はほとんど見られなかったが、自然を満喫する。

まだまだ収束しないコロナウイルスの中、迷いながら実施した。

5月30日（日）、京王線新宿駅発6時29分の特急京王八王子行きに乗車。北野で高尾山口行きに乗り換え、高尾でJR中央線の河口湖行きに乗り換え、河口湖駅に9時13分着。

降り立ったのは、有倉、奥村、佐藤、三田村、東郷（初参加）、及川、西川夫妻、川名夫人、戸丸の10名。降りたところにさわやかな高原の空気になり気持ちが高揚する。駅前の風情を見て久しぶりに観光地に來たと感じた。

9時50分の天下茶屋行きのバスに乗車。富士山は右の斜面から裾野までは見えていた。山頂から左側は雲の中だ。斜面にはわずかに雪渓が見えている。河口湖越しに見る御坂山地の御坂山、黒岳方面の緑が色とりどりで美しい。

10時20分頃、バスは三ツ峠登山口に到着。降りてすぐに何かのすごい鳴き声に驚く。カエルなのかセミなのか？おそらくエゾハルゼミだと思われる。失

礼ながらうるさいくらいにぎやかだ。

10時37分、出発。まずは標識に従って右に入ってゆく。しばらくは舗装路だ。右側の沢がきれいだ。

10時49分、突き当たると標識があり右は西川林道、左が三ツ峠登山道とある。左に曲がるとすぐに左側にトイレが見える。小休止。バス停に観光バスで後から來た登山ツアーらしき20数名の団体が追い付いてここで一緒になる。再出発。

11時5分頃、団体が追い抜いていく。道は四駆が通っているらしい広さだが足元はガタガタしている。山小屋のジープが通っているからだろう。

11時18分、少し広いところで休憩。何か虫のような白いものが舞っている。どうやら柳の花のようだ。眩しいくらいの日差しが降り注いでいる。美しい緑のトンネルをジグザグと登ってゆく。薄紫のミツバツツジがあちこちで見られるようになる。

12時20分。右に三ツ峠山荘と看板



があり、分岐を右に行く。左右の土手が深く削られたような道を進むと目の前に山荘が見えてくる。

12時26分、三つ峠山荘着。たくさん若者の団体がいて思わず外していたマスクを装着。富士は両裾野が見えていて演習場の緑も見えるが中腹から山頂までは雲の中だ。三つ峠山頂直下の岩にはクライミングをする人たちが見えている。西川夫人が少し足を痛めたように治療タイム。その後は調子良さそうだった。

12時39分、少し先の方位盤のある広場に到着。雪をかぶった南アルプスや八ヶ岳などがよく見えた。昼食会場をここに決めて、荷物を置いて山頂まで行くことにする。

三つ峠駅での打ち上げの
残金2000円を会計に入
れました。

現在の収支
繰越 32863 円
入金 200 円
支出
News/HP 作成費 500 円
当日プリント代 100 円
現在高 32463 円

少し下って再び上り返す。ミツバツツジがきれいだった。滑りやすかった砂礫の登りは工夫された滑りにくい階段状に整備されていて安全性が増したようだ。

午後1時、三つ峠山頂に到着。富士山は隠れているが気持ちのいい山頂だ。早速集合写真を撮る。三脚を置いてきたことに気づいて近くにいた人にシャッターを押してもらおう。どこかの国の方で佐藤さんに英語で話してもらった。立派な体格の4名でそのあと一緒に写真を撮った。箱根組の旗を見て「はこね」と叫ぶことになったのは面白かった。

同じ道を下って先ほどの昼食会場へ戻る。結果としてソーシヤルデイスタンスで20メートルほど離れた向かい合わせのベンチでの昼食だ。ちよこつとビールで乾杯。佐藤さんのウイスキーも少しいただいて楽しい昼食だ。2時14分、下山開始。三田村さんと東郷さんは当初の予定通り河口湖へまっすぐ降りるコースへ。我々は時間の短い三つ峠駅方向へ変更してそれぞれ下ることにする。(ベテランの三田村さんたちはきつと早いだろうと思っていた

6月20日(日)、奥多摩むかし道と奥多摩湖畔天ぷら

ラクダコース 歩行約2時間

※電車バス内など、混雑時はマスクを使用しましょう。

奥多摩駅から奥多摩むかし道を歩いて境橋か梅久保バス停まで歩きます。途中野草を採りながら進みます。バスで奥多摩湖まで、湖畔でも野草採取して天ぷらをします。

※お弁当は要りません。うどんそばを作ります。

○持ち物 食器、箸、カップ、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 6月18日(金)までに

集合 6月20日(日) JR新宿駅(11番線)

7:44発 ホリデー快速おくたま3号
奥多摩行き(3号車車内)
(※武蔵五日市行きに乗らないこと)

途中駅発

中野 7:49 三鷹 7:59 国分寺 8:06

立川 8:12 西立川 8:16

奥多摩 9:17着

交通費 新宿～奥多摩(片道1,100円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

ら、やはり予想通り河口湖に着くほうが我々より早かった。さて8名のグループはゆつくりと降りてゆく。

山荘の四季楽園の前を右に下り、急な階段と岩だらけの道を慎重に降りてゆく。

2時30分、岩の下に着く。頭上にクライミングの人が登っているのが見える。

2時42分、神鈴権現社通過、社は見えなかった。すぐに一字一石供養塔、石塔の周りにたくさん石が積まれている。そのあと木製の橋を渡ってすすむ。



愛宕尊を過ぎると小さな沢に金属製の新しい通路が出来ていた。この先も幾つか小さな沢を超えて進む。

3時2分、八十八体供養塔。斜面にたくさん石仏が並んでいる。手前には空胎上人の墓がある。3時16分、不二石。急坂足元注意の看板。岩だらけの道を下ってゆく。

3時31分、愛染明王塔の岩を通過。赤い山つつじがきれいだ。

3時50分、馬返し。4時12分、股

のぞき。後ろ向きに富士を見ると
3
ころだが見えない。

4時40分、林道に出るが、また山道に入り、4時46分、だるま石に着く。橋を渡って林道に出る。

6時10分、三峠駅に到着、解散。コンビニでビールと思っていたら、駅手前の中華がやっているとのこと。希望者5人で塔ノ岳依頼1年2か月ぶりの打ち上げ。静かにビールをいただく。感動の一杯だった。そして中華料理がおいしかった。







